

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛
	<p style="text-align: center;">機械土工(土砂)</p> <p>1. 施工概要及び施工形態 1-1 施工概要(施工フロー)</p> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>1-2 施工形態</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(オープンカット)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(片切り)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(片切り)</p> </div> </div> <p>施工形態は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分し、工法を選定する。 「オープンカット」は、図1-1に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で切取幅5m以上、かつ延長20m以上を標準とする。(掘削法については、表1.1を参照) 「片切り」は、図1-2及び図1-3に示すような切取幅5m未満の領域②とする。 なお、図1-2に示すような箇所にあっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカット工法が可能と判断される場合(図1-2領域①)はオープンカットを適用する。(掘削法について、表1.2を参照)</p>	<p>現行どおり</p>

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																	
	<p style="text-align: center;">表1.1オープンカット (㊤領域)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">掘 削 法</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">㊤-土砂</td> <td>ブルドーザ掘削</td> <td rowspan="2">『②機械土工(土砂)』</td> </tr> <tr> <td>バックホウ掘削</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">㊤-岩</td> <td>リッパ掘削</td> <td rowspan="3">『③機械土工(岩石)』</td> </tr> <tr> <td>火薬併用リッパ掘削</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ掘削</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1.2片切り (㊤領域)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">掘 削 法</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㊤-土砂</td> <td>人力併用機械掘削</td> <td>『②機械土工(土砂)』</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">㊤-岩</td> <td>人力併用機械掘削</td> <td rowspan="2">『③機械土工(岩石)』</td> </tr> <tr> <td>火薬併用機械掘削</td> </tr> <tr> <td colspan="2">機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。</td> <td>『⑤人力土工』</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 掘削法及び機種の選定(土砂)</p> <p>2-1 掘削法</p> <p>(1) オープンカット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ブルドーザ掘削……ブルドーザにより掘削押土を行う作業をいう。 ○バックホウ掘削……バックホウによる掘削及び積込作業をいう。 <p>(2) 片切り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人力併用機械掘削……バックホウによる掘削と一部人力による切崩しの組合せによる作業をいう。 <p>2-2 機種の選定</p> <p>標準として積算に用いる機械は、次表のとおりとするが、工事量、工期、現場条件を勘案して最も適した機種を選定する。</p> <p>(1) ブルドーザの機種選定</p> <p style="text-align: center;">表2.1 ブルドーザの機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">作業の種類</th> <th style="width: 20%;">作業の内容</th> <th style="width: 60%;">ブルドーザの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">掘削押土(運搬)</td> <td>30,000m³未満</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級</td> </tr> <tr> <td>30,000m³以上</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 32t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、1工事当りのブルドーザ掘削押土による取扱い土量である。 3. 湿地軟弱土での作業の場合は、取扱い土量にかかわらず湿地20t級を適用する。</p>		掘 削 法	摘 要	㊤-土砂	ブルドーザ掘削	『②機械土工(土砂)』	バックホウ掘削	㊤-岩	リッパ掘削	『③機械土工(岩石)』	火薬併用リッパ掘削	大型ブレーカ掘削		掘 削 法	摘 要	㊤-土砂	人力併用機械掘削	『②機械土工(土砂)』	㊤-岩	人力併用機械掘削	『③機械土工(岩石)』	火薬併用機械掘削	機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。		『⑤人力土工』	作業の種類	作業の内容	ブルドーザの規格	掘削押土(運搬)	30,000m ³ 未満	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級	30,000m ³ 以上	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 32t級	<p>現行どおり</p>
	掘 削 法	摘 要																																	
㊤-土砂	ブルドーザ掘削	『②機械土工(土砂)』																																	
	バックホウ掘削																																		
㊤-岩	リッパ掘削	『③機械土工(岩石)』																																	
	火薬併用リッパ掘削																																		
	大型ブレーカ掘削																																		
	掘 削 法	摘 要																																	
㊤-土砂	人力併用機械掘削	『②機械土工(土砂)』																																	
㊤-岩	人力併用機械掘削	『③機械土工(岩石)』																																	
	火薬併用機械掘削																																		
機械施工が不可能な場合は、人力切崩しとする。		『⑤人力土工』																																	
作業の種類	作業の内容	ブルドーザの規格																																	
掘削押土(運搬)	30,000m ³ 未満	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級																																	
	30,000m ³ 以上	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 32t級																																	

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																									
	<p>(2) 掘削積込機械の機種選定</p> <p style="text-align: center;">表2.2 掘削積込機械の機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業の種類</th> <th style="width: 20%;">作業の内容</th> <th style="width: 15%;">機械名</th> <th style="width: 50%;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み</td> <td style="text-align: center;">50,000m³未満</td> <td style="text-align: center;">バックホウ</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50,000m³以上</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">床 掘 削 (作 業 土 工)</td> <td style="text-align: center;">標 準</td> <td style="text-align: center;">バックホウ</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平均施工幅 1 m以上2 m未満の場合</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平均施工幅 1 m未満の場合</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">『④小規模土工』</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表より難しい場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、1工事当りのバックホウによる取扱い土量である。</p> <p>(3) ダンプトラック運搬作業 標 準 10 t 積級 特殊な場合は、別途考慮する。 (注) 特殊な場合とは、小規模工事、現場狭小のための標準機種の使用が不適当な場合をいう。</p> <p>3. 運搬距離による土工方式の区分 土運搬の工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 土運搬の工法選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">運 搬 距 離</th> <th style="width: 80%;">標 準 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">60m以下 60mを超える</td> <td style="text-align: center;">ブルドーザが標準 バックホウ+ダンプトラックが標準</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、次表の土量換算係数 f を乗じて算出する。</p>	作業の種類	作業の内容	機械名	規 格	掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	50,000m ³ 以上	"	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	床 掘 削 (作 業 土 工)	標 準	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	平均施工幅 1 m以上2 m未満の場合	"	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	平均施工幅 1 m未満の場合	『④小規模土工』		運 搬 距 離	標 準 工 法	60m以下 60mを超える	ブルドーザが標準 バックホウ+ダンプトラックが標準	} 現行どおり
作業の種類	作業の内容	機械名	規 格																								
掘 削 積 込 ルーズ状態の積込み	50,000m ³ 未満	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																								
	50,000m ³ 以上	"	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)																								
床 掘 削 (作 業 土 工)	標 準	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																								
	平均施工幅 1 m以上2 m未満の場合	"	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																								
	平均施工幅 1 m未満の場合	『④小規模土工』																									
運 搬 距 離	標 準 工 法																										
60m以下 60mを超える	ブルドーザが標準 バックホウ+ダンプトラックが標準																										

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																														
	<p style="text-align: center;">表4.1 土量換算係数 f の値</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">求める作業量 基準の作業量</td> <td style="text-align: center;">地山の土量</td> <td style="text-align: center;">ほぐした土量</td> <td style="text-align: center;">締めめた土量</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地山の土量</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">L</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(注) L及びCは「第2編2章土工①土量変化率」による。</p> <p>(2) 土質区分 日当り施工量における土質は、次表のとおり区分する。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 土質区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土 質 名</th> <th style="text-align: center;">分 類 土 質 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>砂質土、普通土、砂質ローム</td> <td>砂 質 土</td> </tr> <tr> <td>レキ質土、砂利混り土、レキ</td> <td>レキ 質 土</td> </tr> <tr> <td>粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土</td> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石混り土、破碎岩</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1 ブルドーザの作業能力 (1) 日当り施工量 ブルドーザによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">土 質 名</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">地山の掘削押土</th> <th style="text-align: center;">ルーズな状態の押土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ブルドーザ 運 転</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級</td> <td style="text-align: center;">砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td style="text-align: center;">320</td> <td style="text-align: center;">540</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">350</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ブルドーザ 運 転</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級</td> <td style="text-align: center;">砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">710</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">440</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の施工量は、運搬距離60mまでの押土作業を含んだ値である。 2. 上記の施工量は、転圧を伴わない敷均しを含んだ作業にも適用出来る。ただし、転圧を伴う場合は、「第5編1章土工②土工」により別途計上する。 3. 「ルーズな状態の押土」作業は、湿地20t級を適用する。 4. 軟岩をリッピングしたものはリッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質の値とする。 5. 破碎岩の施工量は、「ルーズな状態の押土」を適用する。 6. 集積作業は、「ルーズな状態の押土」を適用する。</p>	求める作業量 基準の作業量	地山の土量	ほぐした土量	締めめた土量	地山の土量	1	L	C	土 質 名	分 類 土 質 名	砂	砂	砂質土、普通土、砂質ローム	砂 質 土	レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ 質 土	粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土	粘 性 土	岩塊・玉石混り土、破碎岩	岩塊・玉石	名 称	規 格	土 質 名	単 位	地山の掘削押土	ルーズな状態の押土	ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	m ³	320	540	岩塊・玉石	"	200	350	ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	"	710	-	岩塊・玉石	"	440	-	}
求める作業量 基準の作業量	地山の土量	ほぐした土量	締めめた土量																																													
地山の土量	1	L	C																																													
土 質 名	分 類 土 質 名																																															
砂	砂																																															
砂質土、普通土、砂質ローム	砂 質 土																																															
レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ 質 土																																															
粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム 火山灰質粘性土、有機質土	粘 性 土																																															
岩塊・玉石混り土、破碎岩	岩塊・玉石																																															
名 称	規 格	土 質 名	単 位	地山の掘削押土	ルーズな状態の押土																																											
ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 湿地20t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	m ³	320	540																																											
		岩塊・玉石	"	200	350																																											
ブルドーザ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通32t級	砂・砂質土・レキ質土 ・粘性土	"	710	-																																											
		岩塊・玉石	"	440	-																																											
		現行どおり																																														

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																																																																		
	<p>4-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 日 当 り 施 工 量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">地山の掘削積込</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>300</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>230</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>500</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>410</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ルーズな状態の積込</td> <td rowspan="6">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">260</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">520</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">440</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">130</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床掘り(作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 地山の掘削積込 障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合。 障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業が出来ない場合。 床掘り(作業土工) 障害なし：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：①床掘り作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。 ②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘、基礎掘削、床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質とする。 基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100m²当り普通作業員2人を別途計上する。 機械土工(岩石)における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態のバックホウ山積0.45m³(平積0.35m³)を適用する。 	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190	岩塊玉石	"	230	140	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	500	320	岩塊玉石	"	410	260	ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	310		岩塊玉石・岩(破砕)	"	260		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	520		岩塊玉石・岩(破砕)	"	440		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	160		岩塊玉石・岩(破砕)	"	130		床掘り(作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	220	180	岩塊玉石	"	160	130	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	150	100	岩塊玉石	"	110	70	<p>4-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 日 当 り 施 工 量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">地山の掘削積込</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>240</td> <td>152</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>184</td> <td>112</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>400</td> <td>256</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>328</td> <td>208</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ルーズな状態の積込</td> <td rowspan="6">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">248</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">208</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">416</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">352</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td colspan="2">128</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石・岩(破砕)</td> <td>"</td> <td colspan="2">104</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床掘り(作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>"</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>"</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 地山の掘削積込 障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合。 障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業が出来ない場合。 床掘り(作業土工) 障害なし：①床掘り作業において障害物等により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：①床掘り作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。 ②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘、基礎掘削、床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質とする。 基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100m²当り普通作業員2人を別途計上する。 機械土工(岩石)における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態のバックホウ山積0.45m³(平積0.35m³)を適用する。 	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量			障害なし	障害あり		地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	240	152		岩塊玉石	"	184	112		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	400	256		岩塊玉石	"	328	208		ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	248		岩塊玉石・岩(破砕)	"	208		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	416		岩塊玉石・岩(破砕)	"	352		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	128		岩塊玉石・岩(破砕)	"	104		床掘り(作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	220	180	岩塊玉石	"	160	130	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	150	100	岩塊玉石	"	110	70
作業の種類	名 称						規 格	土 質 名	単位	数 量																																																																																																																																																										
		障害なし	障害あり																																																																																																																																																																	
地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	300	190																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	230	140																																																																																																																																																														
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	500	320																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	410	260																																																																																																																																																														
ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	310																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	260																																																																																																																																																															
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	520																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	440																																																																																																																																																															
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	160																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	130																																																																																																																																																															
床掘り(作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	220	180																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	160	130																																																																																																																																																														
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	150	100																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	110	70																																																																																																																																																														
作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単位	数 量																																																																																																																																																															
					障害なし	障害あり																																																																																																																																																														
地山の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	240	152																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	184	112																																																																																																																																																														
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	400	256																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	328	208																																																																																																																																																														
ルーズな状態の積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	248																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	208																																																																																																																																																															
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	416																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	352																																																																																																																																																															
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	128																																																																																																																																																															
			岩塊玉石・岩(破砕)	"	104																																																																																																																																																															
床掘り(作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	220	180																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	160	130																																																																																																																																																														
		排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	"	150	100																																																																																																																																																														
			岩塊玉石	"	110	70																																																																																																																																																														

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																												
	<p>(2) 床掘り(作業土工)補助労務 構造物等(共同溝を除く)の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土(土べら)及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 床掘補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土留方式</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">床掘り (作業土工)</td> <td>自 立 式</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>切梁腹起し方式</td> <td style="text-align: center;">＃</td> <td style="text-align: center;">＃</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>グランドアンカ方式</td> <td style="text-align: center;">＃</td> <td style="text-align: center;">＃</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 片切掘削(人力併用機械掘削)</p> <p>(1) 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td style="text-align: center;">台</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 日当り施工量 片切掘削(人力併用機械掘削)の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>砂・砂質土・粘性土・レキ質土</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td style="text-align: center;">220</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人力掘削歩掛 片切掘削(人力併用機械掘削)の人力掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 片切掘削(人力併用機械掘削)の人力掘削歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>土 質 名</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>砂・砂質土・粘性土・レキ質土</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工(法面整形工)の機械による切土整形にて計上する。</p>	作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量	床掘り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3	切梁腹起し方式	＃	＃	0.9	グランドアンカ方式	＃	＃	0.7	機 械 名	規 格	単 位	数 量	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220	名 称	土 質 名	単 位	数 量	普通作業員	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	人	3.9	} 現行どおり
作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量																																										
床掘り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3																																										
	切梁腹起し方式	＃	＃	0.9																																										
	グランドアンカ方式	＃	＃	0.7																																										
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																											
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																											
名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	m ³	220																																										
名 称	土 質 名	単 位	数 量																																											
普通作業員	砂・砂質土・粘性土・レキ質土	人	3.9																																											

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>4-4 ダンプトラックの運搬作業 (1) ダンプトラック (10 t 積級) による, 土砂100m³当り運搬日数は, 表4.9, 表4.10及び表4.11による。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t 積級</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>1.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>3.0 以下</td> <td>4.0 以下</td> <td>5.5 以下</td> <td>6.5 以下</td> <td>7.5 以下</td> <td>9.5 以下</td> <td>11.5 以下</td> <td>15.5 以下</td> <td>22.5 以下</td> <td>49.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.65</td> <td>0.75</td> <td>0.85</td> <td>0.95</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>1.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>3.0 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>5.0 以下</td> <td>6.0 以下</td> <td>7.0 以下</td> <td>8.5 以下</td> <td>11.0 以下</td> <td>14.0 以下</td> <td>19.5 以下</td> <td>31.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.65</td> <td>0.75</td> <td>0.85</td> <td>0.95</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表4.10 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="16">バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値)クローラ型山積1.4m³ (平積1.0m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="16">ダンプトラック 10 t 積級</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>1.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>2.5 以下</td> <td>3.0 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>4.5 以下</td> <td>6.0 以下</td> <td>7.0 以下</td> <td>8.5 以下</td> <td>10.0 以下</td> <td>12.5 以下</td> <td>16.5 以下</td> <td>23.5 以下</td> <td>51.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.50</td> <td>0.60</td> <td>0.70</td> <td>0.80</td> <td>0.90</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td colspan="17" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.3 以下</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>1.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>2.5 以下</td> <td>3.0 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>4.5 以下</td> <td>5.5 以下</td> <td>6.5 以下</td> <td>8.0 以下</td> <td>9.5 以下</td> <td>11.5 以下</td> <td>15.0 以下</td> <td>20.5 以下</td> <td>33.0 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>0.50</td> <td>0.60</td> <td>0.70</td> <td>0.80</td> <td>0.90</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> </tr> </table>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t 積級																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)																運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t 積級																D I D 区 間 : 無 し																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4	D I D 区 間 : 有 り																	運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下	運搬日数 (日)	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4	<p>現行どおり</p>
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																									
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t 積級																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬日数 (日)	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																										
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬日数 (日)	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																										
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値)クローラ型山積1.4m ³ (平積1.0m ³)																																																																																																																																																																																																																																																																																									
運搬機種・規格	ダンプトラック 10 t 積級																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																								
運搬日数 (日)	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																								
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																																																																																																																																																										
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																								
運搬日数 (日)	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																								

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																																																		
	<p>表4.11 100m³当り運搬日数 (土 砂)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td>積込機種・規格</td> <td colspan="14">バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> </tr> <tr> <td>運搬機種・規格</td> <td colspan="14">ダンプトラック 10t積級</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>2.5 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>4.5 以下</td> <td>6.0 以下</td> <td>7.5 以下</td> <td>10.0 以下</td> <td>13.5 以下</td> <td>19.5 以下</td> <td>39.0 以下</td> <td>60.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td> <td>1.0 以下</td> <td>1.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>3.0 以下</td> <td>4.0 以下</td> <td>5.5 以下</td> <td>7.0 以下</td> <td>9.0 以下</td> <td>12.0 以下</td> <td>17.5 以下</td> <td>28.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運搬日数 (日)</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>9.4</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 4. D I D (人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5. 運搬距離が、60kmを超える場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 100m³当り運搬日数(軟岩・硬岩) 軟岩及び硬岩の100m³当り運搬日数は、次式による。 $100\text{m}^3\text{当り運搬日数} = \text{土砂}100\text{m}^3\text{当り運搬日数} \times (1 + K)$ K: 補正係数 補正係数(K)の値は、次表とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small; margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表4.12 補正係数(K)</caption> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">土 質</th> <th style="width: 33%;">軟 岩</th> <th style="width: 33%;">硬 岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">補 正 係 数</td> <td style="text-align: center;">+0.22</td> <td style="text-align: center;">+0.37</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 単 価 表 (1) ブルドーザ掘削押土100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small; margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級又は普通32t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)														運搬機種・規格	ダンプトラック 10t積級														D I D 区 間 : 無 し															運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下		運搬日数 (日)	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		D I D 区 間 : 有 り															運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下		運搬日数 (日)	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		土 質	軟 岩	硬 岩	補 正 係 数	+0.22	+0.37	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3	諸 雑 費		式	1		計					} 現行どおり
積込機種・規格	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																																																																																																																																																			
運搬機種・規格	ダンプトラック 10t積級																																																																																																																																																			
D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																																																				
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																							
運搬日数 (日)	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																							
D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																																																				
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																							
運搬日数 (日)	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4																																																																																																																																							
土 質	軟 岩	硬 岩																																																																																																																																																		
補 正 係 数	+0.22	+0.37																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級又は普通32t級	日	100/D	表4.3																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																				

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																					
	<p>(2) バックホウ掘削積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)、山積1.4m³(平積1.0m³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(3) バックホウ積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)、山積1.4m³(平積1.0m³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(4) バックホウ床掘100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)、又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5 必要より計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(5) 掘削補助労力(基面整正)100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、山積1.4m ³ (平積1.0m ³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、山積1.4m ³ (平積1.0m ³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4	普通作業員		人		表4.5 必要より計上	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表4.5	諸 雑 費		式	1		計					} 現行どおり
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、山積1.4m ³ (平積1.0m ³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																				
計																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、山積1.4m ³ (平積1.0m ³)又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																				
計																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、又は排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.4																																																																																			
普通作業員		人		表4.5 必要より計上																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																				
計																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
普通作業員		人		表4.5																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																				
計																																																																																							

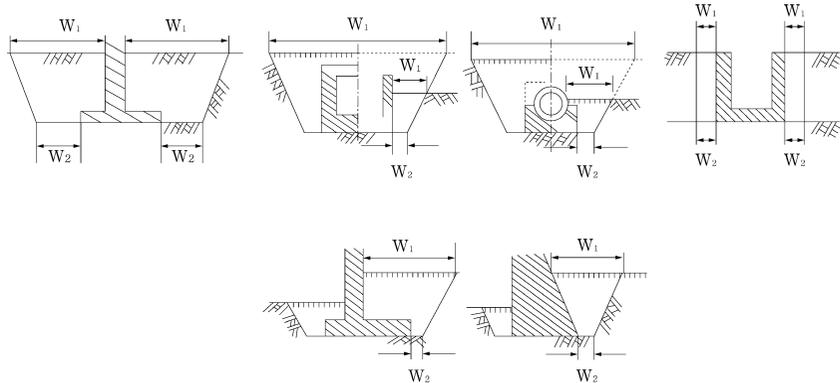
東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																	
	<p>(6) 片切掘削(人力併用機械掘削) 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">通用単価表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.83</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通32t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→ 1.83</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.46</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(掘削積込)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→ 1.33</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(積込)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→ 1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→ 1.38</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(床掘り)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→ 1.48</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(片切掘削)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.33</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→ 1.24</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7	普通作業員		人		表4.8	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	通用単価表	指 定 事 項	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.83	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通32t級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→ 1.83	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.46	バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→ 1.33	バックホウ(積込)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→ 1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→ 1.38	バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→ 1.48	バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.33	ダンプトラック	10t積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→ 1.24	} 現行どおり
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.7																																																															
普通作業員		人		表4.8																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																
計																																																																			
機 械 名	規 格	通用単価表	指 定 事 項																																																																
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地20t級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.83																																																																
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通32t級	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→238 機械損料数量→ 1.83																																																																
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→ 1.46																																																																
バックホウ(掘削積込)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→168 機械損料数量→ 1.33																																																																
バックホウ(積込)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→ 1.38																																																																
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→57 機械損料数量→ 1.38																																																																
バックホウ(床掘り)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→ 1.48																																																																
バックホウ(片切掘削)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.33																																																																
ダンプトラック	10t積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→76 機械損料数量→ 1.24																																																																
	<p>6. 埋 戻 工</p> <p>6-1 適用範囲</p> <p>本資料は、機械による埋戻し(敷均し含む)及び締固めの一連作業に適用する。なお、「第2編2章土工④小規模土工」の適用範囲に合致する工事は、適用しない。</p>																																																																		

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																									
	<p>6-2 施工計画</p> <p>6-2-1 埋戻し 埋戻し機械は、バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)又は排出ガス対策型(第1次基準値)山積0.45m³(平積0.35m³))を標準とする。なお、埋戻し機械の稼働時間には、敷均しを含む。</p> <p>6-2-2 敷均し補助 埋戻し機械により、埋戻し材料のはねつけ、敷均しを行うが、構造物周辺の敷均し補助として普通作業員を計上する。</p> <p>6-2-3 締固め 締固め機械は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 締固め機械の機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">埋戻し種別</th> <th style="width: 15%;">基準埋戻し幅(W)</th> <th style="width: 15%;">締固め機械</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 30%;">台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">$W_2 \geq 4 \text{ m}$</td> <td style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">$W_1 \geq 4 \text{ m}$</td> <td style="text-align: center;">振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg</td> <td style="text-align: center;">1 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">$1 \text{ m} \leq W_1 < 4 \text{ m}$</td> <td style="text-align: center;">振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg</td> <td style="text-align: center;">1 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: center;">$W_1 < 1 \text{ m}$</td> <td style="text-align: center;">タ ン パ</td> <td style="text-align: center;">60~80kg</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 埋戻し幅W_1とは最大埋戻し幅、埋戻し幅W_2とは最小埋戻し幅を表し、下図のとおりとする。 なお、擁壁等で前背面の最大埋戻し幅が異なる場合は、広い方の領域を基準とし、狭い方も同一歩掛を適用するものとする。</p> <p>2. 埋戻し幅W_2が4m以上の場合は、埋戻し種別Aを適用するものとする。</p> <p>3. 締固め機械等の搬入が困難な場合、又は締固めを伴わない作業等で、上表によることが著しく不適当と判断される場合は別途考慮する。</p>	埋戻し種別	基準埋戻し幅(W)	締固め機械	規 格	台数	A	$W_2 \geq 4 \text{ m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	1	B	$W_1 \geq 4 \text{ m}$	振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg	1 1	C	$1 \text{ m} \leq W_1 < 4 \text{ m}$	振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg	1 1	D	$W_1 < 1 \text{ m}$	タ ン パ	60~80kg	1	} 現行どおり
埋戻し種別	基準埋戻し幅(W)	締固め機械	規 格	台数																							
A	$W_2 \geq 4 \text{ m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	1																							
B	$W_1 \geq 4 \text{ m}$	振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg	1 1																							
C	$1 \text{ m} \leq W_1 < 4 \text{ m}$	振動ローラ	ハンドガイド式0.8~1.1t 60~80kg	1 1																							
D	$W_1 < 1 \text{ m}$	タ ン パ	60~80kg	1																							

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																								
		<div style="font-size: 4em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>																																								
	<p>6-3 施工歩掛</p> <p>6-3-1 埋戻工A</p> <p>埋戻工A歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 埋戻工A歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>"</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。</p> <p>6-3-2 埋戻工B</p> <p>埋戻工B歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.3 埋戻工B歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>2.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8～1.1t</td> <td>日</td> <td>0.92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タンバ締固め</td> <td>60～80kg</td> <td>m³</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは、6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0		ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	"	2.0		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	1.6	敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8		振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92		タンバ締固め	60～80kg	m ³	4		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.0																																							
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	"	2.0																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
普通作業員		人	1.6	敷均し補助																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	2.8																																							
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8～1.1t	日	0.92																																							
タンバ締固め	60～80kg	m ³	4																																							

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																												
	<p>6-3-3 埋戻工C 埋戻工C歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.4 埋戻工C歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ 運 転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1 t</td> <td>日</td> <td>1.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ ン バ 締 固 め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ~締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは、6-3-5のタンバ締固めによる。 3. 振動ローラ、タンバは、賃料とする。</p> <p>6-3-4 埋戻工D 埋戻工D歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.5 埋戻工D歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> <td>敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ ン バ 締 固 め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛には、はねつけ~締固めまでの作業が含まれている。 2. タンバ締固めは、6-3-5のタンバ締固めによる。 3. はねつけ機械の搬入が困難な場合は、「人力盛土+タンバ締固め」とする。 4. タンバは、賃料とする。</p> <p>6-3-5 タンバ締固め タンバによる締固め施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.6 締固め機械施工歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.0</td> <td>締固め補助</td> </tr> <tr> <td>タ ン バ 運 転</td> <td>60~80kg</td> <td>日</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0		振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1 t	日	1.35		タ ン バ 締 固 め	60~80kg	m ³	10		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	6.0		タ ン バ 締 固 め	60~80kg	m ³	100		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	3.0	締固め補助	タ ン バ 運 転	60~80kg	日	3.0		<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	4.0																																																											
振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式0.8~1.1 t	日	1.35																																																											
タ ン バ 締 固 め	60~80kg	m ³	10																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
普 通 作 業 員		人	4.0	敷均し補助																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	6.0																																																											
タ ン バ 締 固 め	60~80kg	m ³	100																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
普 通 作 業 員		人	3.0	締固め補助																																																										
タ ン バ 運 転	60~80kg	日	3.0																																																											

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																													
	<p>6-4 単価表 (1) 埋戻工A100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 埋戻工B100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.3 敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンバ締め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 埋戻工C100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.4 敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンバ締め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 埋戻工D100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.5 敷均し補助</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タンバ締め</td> <td>60~80kg</td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃 補助労務含む</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.3 敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.4 敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃	振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃	タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表6.5 敷均し補助	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃	タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む	諸 雑 費		式	1		計					} 現行どおり
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表6.2																																																																																																																											
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃		〃																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																												
計																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																											
普通作業員		人		表6.3 敷均し補助																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																											
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																											
タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																												
計																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																											
普通作業員		人		表6.4 敷均し補助																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		〃																																																																																																																											
振動ローラ運転	ハンドガイド式0.8~1.1t	日		〃																																																																																																																											
タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																												
計																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																											
普通作業員		人		表6.5 敷均し補助																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃																																																																																																																											
タンバ締め	60~80kg	m ³		〃 補助労務含む																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																												
計																																																																																																																															

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																								
	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適用単価表</th> <th style="width: 35%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ</td> <td>ハンドガイド式0.8~1.1t</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44</td> </tr> <tr> <td>タ ン パ</td> <td>60~80kg</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 機械土工(土砂)[クラムシエルの作業能力]</p> <p>7-1 適用範囲</p> <p>本資料は、土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で床掘り(作業土工)及び水中の掘削積込作業に適用する。</p> <p>ただし、水中掘削積込については、陸上作業を対象とし、海上・水上作業は除く。</p> <p>なお、別途歩掛が存在する深礎工、鋼管矢板基礎工、共同溝工、地すべり防止工は除く。</p> <p>7-2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[水中の掘削積込] A --> C[床掘り(作業土工)] B --> D[機械搬出] C --> D </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1		バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1		ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1		振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44	タ ン パ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン	} 現行どおり
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1																								
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1																								
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-1																								
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式0.8~1.1t	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2 賃料数量→1.44																							
タ ン パ	60~80kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→4.5 賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン																							

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																
	<p>工法選定フロー</p> <p>7-3 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 種</th> <th rowspan="3">作業種別</th> <th rowspan="3">台数</th> <th rowspan="3">水中の掘削・積込み</th> <th colspan="2">床掘り(作業土工)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">掘 削 深</th> </tr> <tr> <th>5 m < H ≤ 20m</th> <th>H > 20m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>油圧ロープ式クラムシェルクローラ型</td> <td>平積0.8m³</td> <td>1</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>掘削・積込み</td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型</td> <td>平積0.4m³</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>掘削・積込み</td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型</td> <td>山積0.08m³(平積0.06m³)</td> <td>1</td> <td></td> <td>○(注)</td> <td>○</td> <td>掘削・集土</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 油圧式クラムシェルテレスコピック式クローラ型の作業において、土留・仮締切工の中に切梁・腹起し等の作業障害がある場合は、小型バックホウを計上する。</p>	機 種	作業種別	台数	水中の掘削・積込み	床掘り(作業土工)		摘 要	掘 削 深		5 m < H ≤ 20m	H > 20m	油圧ロープ式クラムシェルクローラ型	平積0.8m ³	1	○		○	掘削・積込み	油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型	平積0.4m ³	1		○		掘削・積込み	小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	1		○(注)	○	掘削・集土	<p>現行どおり</p>
機 種	作業種別					台数	水中の掘削・積込み		床掘り(作業土工)		摘 要																							
									掘 削 深																									
		5 m < H ≤ 20m	H > 20m																															
油圧ロープ式クラムシェルクローラ型	平積0.8m ³	1	○		○	掘削・積込み																												
油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型	平積0.4m ³	1		○		掘削・積込み																												
小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	1		○(注)	○	掘削・集土																												

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																							
	<p>7-4 施工歩掛</p> <p>7-4-1 日当り施工量</p> <p>各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">機 種</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水中の掘削積込</td> <td rowspan="2">油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m³</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>260</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>#</td> <td>180</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床 掘 り (作業土工)</td> <td rowspan="2">油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型 平積0.4m³</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>#</td> <td>200</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>#</td> <td>140</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m³ + 小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.08m³(平積0.06m³)</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 床掘りの現場条件の内容 障害なし：土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がない場合。 障害あり：土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 2. 基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100m³当り普通作業員2人を別途計上する。 3. 油圧式クラムシェルテレスコピック式クローラ型の作業において、土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合は、小型バックホウ山積0.08m³(平積0.06m³)を計上する。 4. 小型バックホウの坑内搬入搬出については、別途計上する。 5. 坑内でバックホウを使用する場合、及び基面整正、床掘補助作業に防護施設、送風機等が必要な場合は別途計上する。</p> <p>7-4-2 床掘り(作業土工)補助労務</p> <p>土留・仮締切方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土(土べら)落とし、腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所の人力掘削及び小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7.3 床掘補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土留方式</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">床 掘 り (作業土工)</td> <td>自 立 式</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>切 梁 腹 起 し 方 式</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>グランドアンカ方式</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>7-4-3 ダンプトラックの運搬作業</p> <p>標準は10t積とし、別途計上する。</p>	作業の種類	機 種	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	水中の掘削積込	油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m ³	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	260	—	岩塊玉石	#	180	—	床 掘 り (作業土工)	油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型 平積0.4m ³	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	#	200	130	岩塊玉石	#	140	90	油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m ³ + 小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	#	—	120	岩塊玉石	#	—	90	作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量	床 掘 り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3	切 梁 腹 起 し 方 式	"	"	0.9	グランドアンカ方式	"	"	0.7	<p>現行どおり</p>
作業の種類	機 種					土 質 名	単 位	数 量																																																	
		障害なし	障害あり																																																						
水中の掘削積込	油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m ³	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	260	—																																																				
		岩塊玉石	#	180	—																																																				
床 掘 り (作業土工)	油圧クラムシェルテレスコピック式クローラ型 平積0.4m ³	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	#	200	130																																																				
		岩塊玉石	#	140	90																																																				
	油圧ロープ式クラムシェル・クローラ型 平積0.8m ³ + 小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	#	—	120																																																				
		岩塊玉石	#	—	90																																																				
作業の種類	土留方式	名 称	単 位	数 量																																																					
床 掘 り (作業土工)	自 立 式	普通作業員	人	0.3																																																					
	切 梁 腹 起 し 方 式	"	"	0.9																																																					
	グランドアンカ方式	"	"	0.7																																																					

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																											
	<p>7-5 単 価 表</p> <p>(1) クラムシェル(油圧ロープ式・クローラ型)水中掘削積込100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル運転</td> <td>油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m³</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) クラムシェル(テレスコピック式・クローラ型)床掘(掘削深5m<H≤20m)100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル運転</td> <td>テレスコピック式・クローラ型 平積0.4m³</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.3 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) クラムシェル(油圧ロープ式・クローラ型)床掘(掘削深H>20m)100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル運転</td> <td>油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m³</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.08m³(平積0.06m³)</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル</td> <td>油圧ロープ式 クローラ型 平積0.8m³</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→141 機械損料数量→ 1.58</td> </tr> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル</td> <td>テレスコピック式 クローラ型 平積0.4m³</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.58</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積 0.08m³(平積0.06m³)</td> <td>機-23</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 24 機械損料数量→ 1.73</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クラムシェル運転	油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m ³	日	100/D	表7.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クラムシェル運転	テレスコピック式・クローラ型 平積0.4m ³	日	100/D	表7.2	普通作業員		人		表7.3 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クラムシェル運転	油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m ³	日	100/D	表7.2	小型バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	〃	100/D	表7.2	普通作業員		人		表7.3	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ク ラ ム シ ェ ル	油圧ロープ式 クローラ型 平積0.8m ³	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→141 機械損料数量→ 1.58	ク ラ ム シ ェ ル	テレスコピック式 クローラ型 平積0.4m ³	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.58	小 型 バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積 0.08m ³ (平積0.06m ³)	機-23	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 24 機械損料数量→ 1.73	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
クラムシェル運転	油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m ³	日	100/D	表7.2																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																										
計																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
クラムシェル運転	テレスコピック式・クローラ型 平積0.4m ³	日	100/D	表7.2																																																																																									
普通作業員		人		表7.3 必要に応じて計上																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																										
計																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
クラムシェル運転	油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m ³	日	100/D	表7.2																																																																																									
小型バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	〃	100/D	表7.2																																																																																									
普通作業員		人		表7.3																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																										
計																																																																																													
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																										
ク ラ ム シ ェ ル	油圧ロープ式 クローラ型 平積0.8m ³	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→141 機械損料数量→ 1.58																																																																																										
ク ラ ム シ ェ ル	テレスコピック式 クローラ型 平積0.4m ³	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.58																																																																																										
小 型 バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積 0.08m ³ (平積0.06m ³)	機-23	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 24 機械損料数量→ 1.73																																																																																										

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																		
	<p style="text-align: center;">機械土工(超ロングアームバックホウ土工)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の掘削積込作業を、超ロングアームバックホウにより施工する場合に適用する。ただし、これ以外の一般土工には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[掘削作業 ほぐした土 軟弱土 河床等沈殿物] B --> C[積込作業] C --> D[運搬作業] D --> E[機械搬出] </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削積込(水中の掘削積込含む)</td> <td>超ロングアームバックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.4m³ (平積0.3m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>陸上作業を対象とし、海上、水上作業は除く。</td> </tr> <tr> <td>運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10 t 積載</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘削積込(水中の掘削積込含む)	超ロングアームバックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	台	1	陸上作業を対象とし、海上、水上作業は除く。	運 搬	ダンプトラック	10 t 積載	〃	1	必要に応じて計上する。	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="font-size: 1.5em;">現行どおり</p>
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要															
掘削積込(水中の掘削積込含む)	超ロングアームバックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	台	1	陸上作業を対象とし、海上、水上作業は除く。															
運 搬	ダンプトラック	10 t 積載	〃	1	必要に応じて計上する。															

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛
機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																					
	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 機械土工(超ロングアームバックホウ土工) 100㎡当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="501 448 1104 667"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>ダ ンプ ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>10 t 積級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>表 4.2 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="501 735 1104 916"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.47</td> </tr> <tr> <td>ダ ンプ ト ラ ッ ク</td> <td>10 t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 76 機械損料数量→ 1.29</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)	日		表 4.1	ダ ンプ ト ラ ッ ク 運 転	10 t 積級	〃		表 4.2 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.47	ダ ンプ ト ラ ッ ク	10 t 積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 76 機械損料数量→ 1.29	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																			
超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)	日		表 4.1																																			
ダ ンプ ト ラ ッ ク 運 転	10 t 積級	〃		表 4.2 必要に応じて計上																																			
諸 雑 費		式	1																																				
計																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																				
超 ロ ン グ ア ー ム バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4㎡ (平積0.3㎡)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→101 機械損料数量→ 1.47																																				
ダ ンプ ト ラ ッ ク	10 t 積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 76 機械損料数量→ 1.29																																				

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛
機械土工(土砂・超ロングアームバックホウ土工)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛				
	<div data-bbox="450 379 1158 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 20px;"> ㊦ 機械土工(超ロングアームバックホウ土工) (18・①) </div> <div data-bbox="607 491 1003 539" style="border: 1px solid black; margin: 0 auto; text-align: center;"> <p>表 2.1 一日当り作業量 (㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">作 業 量</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">147</td> </tr> </table> </div>	作 業 量	147	<div data-bbox="1290 379 1998 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 20px;"> ㊦ 機械土工(超ロングアームバックホウ土工) (18・①) </div> <div data-bbox="1447 491 1843 539" style="border: 1px solid black; margin: 0 auto; text-align: center;"> <p>表 2.1 一日当り作業量 (㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">作 業 量</td> <td style="width: 40%; text-align: center; color: red;">118</td> </tr> </table> </div>	作 業 量	118
作 業 量	147					
作 業 量	118					

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛
	<p>土工(砂防)</p> <p>① 土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD subgraph Machinery_Entry [機械搬入] M1[機械施工・掘削作業 (機械施工・岩石掘削工事)] end subgraph Manual_Entry [人力掘削] M2[人力掘削] end M1 --> M3[掘削積込作業] M1 --> M4[掘削押土作業] M2 --> M4 M3 --> M5[運搬作業] M4 --> M5 M5 --> M6[埋戻し(盛土)・捨土処理] M6 --> M7[集積・捨土処理] M7 --> M6 M6 --> M8[機械搬出] </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>現行どおり</p>

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																			
	<p>3. 機種 の 選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種選定の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削 床掘 切崩</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩石掘削 (機械)</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積込</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ダンプトラック 使用時に適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積載</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td rowspan="2">土運搬作業の 機種選定は、 表3.2を標準と する</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋戻・敷均し</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 土運搬作業の機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>運搬距離</th> <th>標準工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m以下</td> <td>ブルドーザが標準</td> </tr> <tr> <td>60mを超える</td> <td>バックホウ+ダンプトラックが標準</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第2章土工②機械土工」4.(1)の土量換算係数fを乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転日当り土量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>220</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>180</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td colspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし:作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり:作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	掘削 床掘 切崩	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1		岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1		積込	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用	運搬	ダンプトラック	10t積載	〃	1	土運搬作業の 機種選定は、 表3.2を標準と する	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1	埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1		運搬距離	標準工法	60m以下	ブルドーザが標準	60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準	作業の種類	土質名	単位	数量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160	岩塊玉石	〃	180	120	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240		岩塊玉石	〃	200		破碎岩	〃	160		<p>現行どおり</p>	<p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐした土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第2章土工②機械土工」4.(1)の土量換算係数fを乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転日当り土量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td style="color: red;">176</td> <td style="color: red;">128</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td style="color: red;">144</td> <td style="color: red;">96</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="color: red;">192</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="color: red;">160</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="color: red;">128</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし:作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり:作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作業の種類	土質名	単位	数量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	176	128	岩塊玉石	〃	144	96	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	192		岩塊玉石	〃	160		破碎岩	〃	128	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																
掘削 床掘 切崩	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																																																																																	
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																	
	岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																
積込	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用																																																																																																																
運搬	ダンプトラック	10t積載	〃	1	土運搬作業の 機種選定は、 表3.2を標準と する																																																																																																																
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																	
埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1																																																																																																																	
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																	
運搬距離	標準工法																																																																																																																				
60m以下	ブルドーザが標準																																																																																																																				
60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準																																																																																																																				
作業の種類	土質名	単位	数量																																																																																																																		
			障害なし	障害あり																																																																																																																	
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160																																																																																																																	
	岩塊玉石	〃	180	120																																																																																																																	
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																																																																																		
	岩塊玉石	〃	200																																																																																																																		
	破碎岩	〃	160																																																																																																																		
作業の種類	土質名	単位	数量																																																																																																																		
			障害なし	障害あり																																																																																																																	
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	176	128																																																																																																																	
	岩塊玉石	〃	144	96																																																																																																																	
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	192																																																																																																																		
	岩塊玉石	〃	160																																																																																																																		
	破碎岩	〃	128																																																																																																																		

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																	
	<p>5. 岩石工</p> <p>5-1 破碎を要する転石粒径 破碎を要する転石粒径は、0.5m以上とする。</p> <p>5-2 施工歩掛 軟岩は軟岩(Ⅰ)と軟岩(Ⅱ)を含む。硬岩は中硬岩と硬岩(Ⅰ)を含む。</p> <p>5-2-1 岩石掘削(機械)歩掛 大型ブレーカ使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 岩石掘削(機械)日当り施工量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟岩</td> <td>m³</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> <td>"</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>転石</td> <td>"</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 岩石掘削(機械)日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">土質・岩分類</th> </tr> <tr> <th>軟岩</th> <th>硬岩</th> <th>転石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内とする。 2. 上表には、破砕片除去、法面整形は含まない。 3. 大型ブレーカのベースマシンは、バックホウ排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)とする。 4. 転石歩掛は、粒径50cm程度の大きさに破砕するものである。 5. 大型ブレーカ用バックホウの岩石作業の損料の補正係数は、+0.25とする。ただし、軟岩を掘削する場合の補正係数は、+0.10とする。 6. 諸雑費は大型ブレーカ用チゼル損耗費であり、機械損料及び運転経費に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	土質・岩分類	単位	施工量	軟岩	m ³	51	硬岩	"	29	転石	"	31	名称	規格	単位	土質・岩分類			軟岩	硬岩	転石	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0	諸雑費率		%	10	29	13	<p>現行どおり</p>
土質・岩分類	単位	施工量																																	
軟岩	m ³	51																																	
硬岩	"	29																																	
転石	"	31																																	
名称	規格	単位	土質・岩分類																																
			軟岩	硬岩	転石																														
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0																														
諸雑費率		%	10	29	13																														

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																															
	<p>5-2-2 岩石掘削(火薬) 火薬使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 岩石掘削(火薬)日当り施工量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>"</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>"</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 岩石掘削(火薬)日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.9</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.2</td> <td>1.9</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛には、仕上掘削を含む。 2. 表土除き、伐根、爆破後の岩破砕片の集積、積込み、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 上表の労務には、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))、削岩機の運転労務を含む。 4. 諸雑費は、火薬・雷管の費用、レッグハンマ損料、ロッド・ビット等の損耗費及び空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>5-2-3 人力掘削歩掛 機械施工が出来ない箇所及び火薬による破砕が出来ない箇所的人力掘削歩掛は、次表とする。 なお、粘性土、砂及び砂質土、レキ質土、岩塊・玉石は、「第2章土工⑥人力土工」による。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 人力掘削 日当り施工量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>"</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>"</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単位	施工量	軟 岩	m ³	37	硬 岩	"	21	転 石	"	9	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.7	0.6	0.3	削 岩 工		"	1.9	1.6	1.4	特 殊 作 業 員		"	2.7	1.8	0.7	普 通 作 業 員		"	2.2	1.9	0.3	諸 雑 費 率		%	18	23	26	土質・岩分類	単位	施工量	軟 岩	m ³	9	硬 岩	"	7	転 石	"	12	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>
土質・岩分類	単位	施工量																																																															
軟 岩	m ³	37																																																															
硬 岩	"	21																																																															
転 石	"	9																																																															
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																														
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																												
世 話 役		人	0.7	0.6	0.3																																																												
削 岩 工		"	1.9	1.6	1.4																																																												
特 殊 作 業 員		"	2.7	1.8	0.7																																																												
普 通 作 業 員		"	2.2	1.9	0.3																																																												
諸 雑 費 率		%	18	23	26																																																												
土質・岩分類	単位	施工量																																																															
軟 岩	m ³	9																																																															
硬 岩	"	7																																																															
転 石	"	12																																																															

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																	
	<p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 岩石掘削(人力)歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の硬岩は、硬岩(1)は含まないものとする。 2. 伐根、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 歩掛には、仕上掘削を含む。 4. 対象土量は、地山土量とする。 5. 上表の労務には、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))、削岩機の運転労務を含む。 6. 歩掛には、掘り起こし及び切崩し作業のほか投棄を含む。 7. 諸雑費は、空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値))運転経費、削岩機機料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. 単 備 表</p> <p>(1) バックホウ掘削・積込・床掘100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(2) ブルドーザ掘削押土100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(3) ダンプトラック運搬100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t積級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 岩石掘削(機械)10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.9	1.0	1.0	特 殊 作 業 員		"	2.8	2.9	2.9	普 通 作 業 員		"	1.9	2.0	2.0	諸 雑 費 率		%	7	7	7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	日	100/D	表4.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	10t積級	日		表4.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1	表5.2	計					<div style="font-size: 4em;">}</div> <p>現行どおり</p>
名 称	規 格				単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																													
		軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																															
世 話 役		人	0.9	1.0	1.0																																																																																																														
特 殊 作 業 員		"	2.8	2.9	2.9																																																																																																														
普 通 作 業 員		"	1.9	2.0	2.0																																																																																																														
諸 雑 費 率		%	7	7	7																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																
計																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	日	100/D	表4.2																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																
計																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
ダンプトラック運転	10t積級	日		表4.3																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																
計																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.2																																																																																																															
計																																																																																																																			

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土工(砂防)

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																						
	<p>(5) 岩石掘削(火薬) 10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>表5.3, 表5.4</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(6) 岩石掘削(人力) 10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>表5.5, 表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16</td> </tr> <tr> <td>ダ ンプ ト ラ ッ ク</td> <td>10t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)</td> <td rowspan="2">油圧式1,300kg級</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機 械 損 料 1 → バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料 2 → 大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4	削 岩 工		"	表5.4×10/D	"	特 殊 作 業 員		"	表5.4×10/D	"	普 通 作 業 員		"	表5.4×10/D	"	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6	特 殊 作 業 員		"	表5.6×10/D	"	普 通 作 業 員		"	表5.6×10/D	"	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67	ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16	ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23	大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 → バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30	機 械 損 料 2 → 大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																				
世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4																																																																																				
削 岩 工		"	表5.4×10/D	"																																																																																				
特 殊 作 業 員		"	表5.4×10/D	"																																																																																				
普 通 作 業 員		"	表5.4×10/D	"																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																				
計																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																				
世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6																																																																																				
特 殊 作 業 員		"	表5.6×10/D	"																																																																																				
普 通 作 業 員		"	表5.6×10/D	"																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																				
計																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																					
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67																																																																																					
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16																																																																																					
ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23																																																																																					
大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 → バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30																																																																																					
			機 械 損 料 2 → 大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30																																																																																					

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																								
	<p style="text-align: center;">土の敷均し締固め工</p> <p>1. 適用範囲及び施工概要</p> <p>1-1 適用範囲 本資料の適用範囲は、路体・路床・築堤の敷均し及び締固め作業に適用する。</p> <p>1-2 施工概要(フロー)</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2. 機種の選定 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">敷均し</td> <td rowspan="3">敷均</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締固め</td> <td rowspan="2">締固</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="2">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し締固め</td> <td rowspan="3">敷均</td> <td>標準</td> <td rowspan="3">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)8~20t</td> </tr> <tr> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">締固め</td> <td rowspan="3">締固</td> <td>10,000m³未満の場合</td> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上の場合</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. なお、機種の選定に当たっては、工事規模、作業条件、土質、土の含水比、他の工種との関連する機械の組合せ等により上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 上表で示す土量は、工事全体の設計盛土量である。 3. 盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質(砂など)の場合に、敷均し締固めを適用する。 4. タイヤローラは賃料とする。</p>	作業	工種	作業の内容	機械名	規格	敷均し	敷均	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級	締固め	締固	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級	敷均し締固め	敷均	標準	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値)8~20t	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級	締固め	締固	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級	10,000m ³ 以上の場合	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級	<p>現行どおり</p>
作業	工種	作業の内容	機械名	規格																																						
敷均し	敷均	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級																																						
		10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級																																						
		トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級																																						
締固め	締固	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級																																						
		10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級																																						
敷均し締固め	敷均	標準	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値)8~20t																																						
		10,000m ³ 未満の場合		ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級																																					
		10,000m ³ 以上の場合			排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級																																					
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型 (第1次基準値)湿地16t級																																								
	締固め	締固	10,000m ³ 未満の場合	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値)普通15t級																																					
			10,000m ³ 以上の場合		排出ガス対策型 (第1次基準値)普通21t級																																					

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																																																																														
	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th rowspan="2">工 種</th> <th rowspan="2">機 種</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">作 業 条 件</th> </tr> <tr> <th>標 準</th> <th>障 害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し締固め</td> <td rowspan="3">路体堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td rowspan="6">m³</td> <td>690</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>980</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級</td> <td>560</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td>540</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>770</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t</td> <td>1,330</td> <td>560</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>580</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し締固め</td> <td rowspan="3">路体堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td rowspan="6">m³</td> <td>410</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>600</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級</td> <td>340</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td>240</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>360</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合 (例えば新設のバイパス工事、あるいは新設の築堤工事等) 障害あり：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合 (例えば現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、あるいは拡築(腹付・嵩上)工事等)</p> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し・敷均し締固め</td> <td>路体・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>路 床</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	工 種	機 種	規 格	単 位	作 業 条 件		標 準	障 害あり	敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	690	350	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	980	570	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級	560	350	路床	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	540	280	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	770	450	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	1,330	560	路床	580	160	敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	410	190	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	600	250	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級	340	160	路床	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	240	130	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	360	150	作 業	工 種	名 称	単 位	数 量	敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.2	路 床	普通作業員	人	0.3	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th rowspan="2">工 種</th> <th rowspan="2">機 種</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">作 業 条 件</th> </tr> <tr> <th>標 準</th> <th>障 害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し締固め</td> <td rowspan="3">路体堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td rowspan="6">m³</td> <td>552</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>784</td> <td>456</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級</td> <td>448</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td>432</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>616</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t</td> <td>1,064</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>464</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し締固め</td> <td rowspan="3">路体堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td rowspan="6">m³</td> <td>328</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>480</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級</td> <td>272</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級</td> <td>192</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級</td> <td>288</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合 (例えば新設のバイパス工事、あるいは新設の築堤工事等) 障害あり：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合 (例えば現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、あるいは拡築(腹付・嵩上)工事等)</p> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>工 種</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し・敷均し締固め</td> <td>路体・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>路 床</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.38</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	工 種	機 種	規 格	単 位	作 業 条 件		標 準	障 害あり	敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	552	280	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	784	456	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級	448	280	路床	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	432	224	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	616	360	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	1,064	448	路床	464	128	敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	328	152	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	480	200	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級	272	128	路床	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	192	104	排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級	288	120	作 業	工 種	名 称	単 位	数 量	敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.25	路 床	普通作業員	人	0.38
作 業	工 種						機 種	規 格	単 位	作 業 条 件																																																																																																																																						
		標 準	障 害あり																																																																																																																																													
敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	690	350																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		980	570																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級		560	350																																																																																																																																										
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級		540	280																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		770	450																																																																																																																																										
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	1,330	560																																																																																																																																								
路床	580	160																																																																																																																																														
敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	410	190																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		600	250																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級		340	160																																																																																																																																										
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級		240	130																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		360	150																																																																																																																																										
			作 業		工 種	名 称	単 位	数 量																																																																																																																																								
敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.2																																																																																																																																												
	路 床	普通作業員	人	0.3																																																																																																																																												
作 業	工 種	機 種	規 格	単 位	作 業 条 件																																																																																																																																											
					標 準	障 害あり																																																																																																																																										
敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	552	280																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		784	456																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級		448	280																																																																																																																																										
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級		432	224																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		616	360																																																																																																																																										
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	1,064	448																																																																																																																																								
路床	464	128																																																																																																																																														
敷均し締固め	路体堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級	m ³	328	152																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		480	200																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)湿地16t級		272	128																																																																																																																																										
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級		192	104																																																																																																																																										
			排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級		288	120																																																																																																																																										
			作 業		工 種	名 称	単 位	数 量																																																																																																																																								
敷均し・敷均し締固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.25																																																																																																																																												
	路 床	普通作業員	人	0.38																																																																																																																																												

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																					
	<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛</p> <p>4-1 適用範囲</p> <p>路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機械・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>第2章土工⑥人力土工 人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締固め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 振動ローラは、賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量</p> <p>各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m³</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 敷均し作業の仕上厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締固め</td> <td rowspan="2">路床</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>m³</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>"</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・ 築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>"</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>"</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	作業	施工幅員(W)	機械名	規格	敷均し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	W < 2.5m	人力土工	第2章土工⑥人力土工 人力盛土(埋戻し)による	締固め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t	作業	工種	機械名	規格	単位	数量	敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m ³	130	作業	工種	機械名	規格	単位	数量	締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	100	ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	55	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	"	120	ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	70	<p>現行どおり</p>
作業	施工幅員(W)	機械名	規格																																																				
敷均し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級																																																				
	W < 2.5m	人力土工	第2章土工⑥人力土工 人力盛土(埋戻し)による																																																				
締固め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																				
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t																																																				
作業	工種	機械名	規格	単位	数量																																																		
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m ³	130																																																		
作業	工種	機械名	規格	単位	数量																																																		
締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	100																																																		
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	55																																																		
	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	"	120																																																		
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	70																																																		
		<p>4-2 日当り作業量</p> <p>各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m³</td> <td style="color: red;">104</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 敷均し作業の仕上厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締固め</td> <td rowspan="2">路床</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>m³</td> <td style="color: red;">80</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>"</td> <td style="color: red;">44</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・ 築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t</td> <td>"</td> <td style="color: red;">96</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>"</td> <td style="color: red;">56</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工種	機械名	規格	単位	数量	敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m ³	104	作業	工種	機械名	規格	単位	数量	締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	80	ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	44	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	"	96	ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	56																		
作業	工種	機械名	規格	単位	数量																																																		
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m ³	104																																																		
作業	工種	機械名	規格	単位	数量																																																		
締固め	路床	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	m ³	80																																																		
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	44																																																		
	路体・ 築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式 コンバインド型3~4t	"	96																																																		
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	56																																																		

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																																																																		
	<p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 単 価 表 (1) ブルドーザ敷均し100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) D: 日当り施工量</p> <p>(2) タイヤローラ締固め100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~ 20 t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) D: 日当り施工量</p> <p>(3) ブルドーザ敷均し締固め100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) D: 日当り施工量</p>	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0.3	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級	日	100/D	表3.1	普 通 作 業 員		人		表3.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~ 20 t	日	100/D	表3.1	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級	日	100/D	表3.1	普 通 作 業 員		人		表3.2	諸 雑 費		式	1		計					<p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center; color: red;">0.38</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div>	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0.38
名 称	単 位	数 量																																																																																		
普 通 作 業 員	人	0.3																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級	日	100/D	表3.1																																																																																
普 通 作 業 員		人		表3.2																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8 ~ 20 t	日	100/D	表3.1																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級, 21 t 級, 湿地16 t 級	日	100/D	表3.1																																																																																
普 通 作 業 員		人		表3.2																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
名 称	単 位	数 量																																																																																		
普 通 作 業 員	人	0.38																																																																																		

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛
土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																													
	<p>(4) 3 t級ブルドーザ敷均し100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p> <p>(5) 振動ローラ締固め100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 撥動式・コンバインド型 3~4 t, 又は、ハンドガイド式 0.8~1.1 t</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級	日	100/D	表4.2	普通作業員		人		表4.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 撥動式・コンバインド型 3~4 t, 又は、ハンドガイド式 0.8~1.1 t	日	100/D	表4.3	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																											
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t級	日	100/D	表4.2																																											
普通作業員		人		表4.4																																											
諸 雑 費		式	1																																												
計																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																											
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 撥動式・コンバインド型 3~4 t, 又は、ハンドガイド式 0.8~1.1 t	日	100/D	表4.3																																											
諸 雑 費		式	1																																												
計																																															

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛 土の敷均し締固め工

現行基準 のページ	現行(土木工事標準歩掛)	被災地で適用する土木工事標準歩掛																																												
	<p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 55%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量→1.55</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→165 機械損料数量→1.55</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→122 機械損料数量→1.64</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ (締固め)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 賃料数量→1.36</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し締固め)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→1.55</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し締固め)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→181 機械損料数量→1.55</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し締固め)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.64</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ (敷均し)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t 級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→1.56</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (締固め)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.60</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (締固め)</td> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1 t</td> <td>機-31</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.4 賃料数量→1.44</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→165 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→122 機械損料数量→1.64	タイヤローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 賃料数量→1.36	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→181 機械損料数量→1.55	ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.64	ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→1.56	振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.60	振動ローラ (締固め)	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.4 賃料数量→1.44	} 現行どおり
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																											
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量→1.55																																											
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→165 機械損料数量→1.55																																											
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→122 機械損料数量→1.64																																											
タイヤローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→38 賃料数量→1.36																																											
ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械損料数量→1.55																																											
ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→181 機械損料数量→1.55																																											
ブルドーザ (敷均し締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.64																																											
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→1.56																																											
振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.60																																											
振動ローラ (締固め)	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.4 賃料数量→1.44																																											